

ニッポンハム食の未来財団 2020 年度第一期 団体活動支援助成 完了報告書

企画活動名	日本の外国人労働者の子ども向けに食物アレルギー紙芝居「しょくもつアレルギーの子をまもる こうちゃんせいじん☆あらわる」動画を英訳に制作し広める
フリガナ	カトウ ミナコ
申請者（代表者）氏名	加藤 美奈子
団体名（正式名称）	団体名：ウサギクラブ子育て支援サークル 申請者の役職・肩書など：代表

1. 活動結果要約

「しょくもつアレルギーのこをまもるこうちゃんせいじん☆あらわる」2015年、食物アレルギー紙芝居を制作し、2016年 YouTube（日本語）で配信したものを、英語訳に替え日本にいる外国人労働者の子どもに食物アレルギーの救急隊の理解を進めるために編集した。詳細は、こちらのリンク先です。 <https://www.youtube.com/watch?v=4k-k1OL3ByQ>

9月に制作完了し、JWLI（運営団体フィッシュファミリー財団）に所属する105団体のうち、外国人労働者を支援のNPO団体に紹介（約10）、みんなのアレルギーexpo2020オンラインで紹介、フェイスブックやSNSでアレルギー情報関連（アレルギーらいふ、ウサギクラブ子育て支援サークル、環境アレルギーアドバイザー支援ネットワーク愛知など）でアピールし情報拡散している。

2. 活動目的

「目的」現在、英語訳の食物アレルギー啓発物は、日本にはほとんど出回っていない。そこに着目し、当団体が以前アレルギー専門医が監修した「しょくもつアレルギーのこをまもる こうちゃんせいじん☆あらわる」の動画を YouTube にすることで、世界中で観てもらえる可能性がある。これによって外国人労働者の子どもは理解しやすく、学校生活の時アレルギー罹患者の子どもの救急対応に協力ができる。また当事者の場合も SOS を周囲の大人に会アピールが早期にできるようになる。

「意義」食物アレルギーの誤食事件を撲滅させるために、来年日本でオリンピックが開催予定なので、啓発できるものはグローバル化する必要があり、今回の事業は大きな意義がある。

3. 活動方法

実施したこと

2020年7月～8月「しょくもつアレルギーのこをまもるこうちゃん せいじん☆あらわる」の英訳を専門家に依頼し英訳の脚本ができる。

8月映像を専門家に依頼し、画像処理を行う。

9月5日声優、ボーカル担当者の撮影録画と編集を専門家に依頼する。

9月10日 YouTube で映像を配信する。<https://www.youtube.com/watch?v=4k-k1OL3ByQ>

9月11日 JWLI（ボストンにある女性 NPO を支援する団体）に所属する外国人労働者支援団体などにメールでお知らせする。105 団体に送信し、そのうち約 10 団体が関係がある。

岡崎市にある外国人労働者支援団体にも利用してもらえるよう約束を取り付ける。

10月13日みんなのアレルギーexpo2020（主催 一般社団法人日本環境保健機構）で団体紹介と英訳の紙芝居の YouTube を配信し1年間観れるようにしている。



Dr. Kou to the Rescue! Helping Us Understand Food Allergies 【食物アレルギーのこをまもる...】
193 回視聴 · 1 か月前
6 0 共有 オフライン 保存



(YouTube の様子)

(YouTube の QR コード)

- ・計画通り実施できた

4. 結果及び波及効果

「結果」

YouTube に英訳の紙芝居を配信し、SNS で拡散し視聴回数が約 190 回ある。

「所期の結果」

実際の外国人労働者の子どもの反応がわからないので、これからも情報拡散をしていく感想を伺えるように調査もしていく。

「波及効果」

SNS で配信を公表した時、多くのかたから「素晴らしい」と褒めていただいた。来年オリンピックがあり、今よりは新型コロナウイルスが落ち着くはずなので外国人が来日する数は増えると思うので、必要性は増すと考えられる。また、英訳なので、世界中で理解ができる内容である。

5. 今後の活動について

英語よりも、ベトナム語（関東地方の外国人労働者）、ブラジル語（東海地方の外国人労働者）の方が、より活かされる言葉なのではないだろうか。と、外国人労働者を教育する団体にアドバイスをいただいたので次回は、それらの言葉で訳し、グローバルな動画を制作していきたいと考えている。

以上